

保育理念 (事業運営方針)		自分を大切にし、他者を認め、思いやりをもって生きる力を育む							
保育方針		遊びと生活を豊かに展開し、一人ひとりの個性的な心と体の成長を支える							
保育目標		・集団の中で信頼関係を築けるこども ・身の回りのものに興味関心を持てるこども ・遊びを通して創造性豊かなこども ・生活に必要な習慣が身につく心身共に健康に過ごせるこども・人の話を聞き自分の思いを伝えられるこども							
社会的責任		人権尊重		説明責任		情報保護		苦情等処理・解決	
○児童福祉施設として子育て家庭や地域に対し、こども園の役割を確実に果たす ○幼児教育の施設として、乳幼児の成長を支える。		○保育教諭は、こども園が子どもの人権を守るために法的に要付けられている事を確認し、理解する		○保護者や地域社会と連携や交流を図り、一方的な「説明」ではなく分かりやすい「説明」する		○保育教育に当たり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らしてはならない(児童福祉法18条の22)		○苦情等解決責任者である施設長の下に苦情等解決担当者を決め書面における体制を整備する。また、職員で共通理解を図る	
☆発達過程		同年齢別のクラスと異年齢の集団(3歳児以上)で園生活を送るが、保育所保育指針の8つの発達段階を前提条件としている。また、子ども一人一人の成長段階を踏まえた上で、実際には養護と教育が一体となって保育教育は展開される。						☆地域の実態とそれに対応した事業・行事 地域のニーズにより、一時保育・こども園開放日を行っている。また、併設し地域の子育て支援センターも機能している。	
保育子ども目標	0歳児	生理的欲求を満たした生活リズムをつかむ			3歳児	保育教諭や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する			
	1歳児	安心できる保育者との関係の下で自分でしようとする気持ちが芽生える			4歳児	保育教諭や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動ができるようになる			
	2歳児	基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした生活を送る			5歳児	生活や遊びの中で、一つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみながら味わう			
	異年齢	・大きい子の遊びに興味を持ち、真似をしながら自分でやってみようとする気持ちを持つ ・行事や遊びを通して小さい子を助けたり、リードしようとする気持ちを持つ							
	保育の内容								
年齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	異年齢	
養護	生命の保持	○安定した生活リズムで過ごす。	○身の回りのことを自分でしようとする。	○生活リズムをくずさないようにしながら体調管理をする。	○基本的な生活習慣を身につける。	○自分の身体に関心を持ち異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。	○健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。	○子どもとの信頼関係を深め、安心してこども園で過ごす	
	情緒の安定	○安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。	○スキンシップを通して保育士との関わりや安心感を味わう。	○子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。	○保育教諭との信頼関係を基盤に子どもが主体的に活動し、自分に自信を持つ。	○トラブルやぶつかり合いが起きた時は相手の気持ちを受け止めながら解決しようとする。	○達成感や充実感を味わい、心の安定を得られるようにする。	○子どもとの信頼関係を深め、安心してこども園で過ごす	
教育	健康	○清潔になる事の心地よさを感じる。 ○這い這いを十分にし、歩行の完成をめざす。	○身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える。 ○歩行が完成する為のあそびを十分に行う。	○生活の中で援助してもらいながら自分でできた事に喜びを感じる。	○うがい・手洗いが習慣づく。 ○戸外あそびや運動あそびを通して体力づくりに活動できる。	○自ら体調の変化に気づく。 ○運動量が増し活発に活動できる。	○生活習慣を自ら確立し、危険な物や場所・行動を知り、気を付けて行動する。	○基本的な生活習慣の大切さを確認しながら進んで行く	
	人間関係	○特定の保育教諭との関わりにより信頼関係が生まれる。	○保育教諭や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。	○生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る。	○友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールを守る。 ○自制心を身につける。	○遊びや行事を通して友達を応援したり力を合わせる事の大切さを知る。	○仲間を意識し、思いやりを持った態度や言葉で、話し合いや解決ができる。	○異年齢の友達と一緒に遊び、関係を深める	
	環境	○様々な素材に興味をもつ。	○玩具に興味をもって様々な遊びを楽しむ。	○自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。	○経験した事を遊びに取り入れ、豊かな感性や好奇心がうまれてくる。	○身近な物や遊具に興味を持って遊ぶ。	○身近なものに興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。	○異年齢の友達と関わり、新しい考えに触れ気付けたり、考えたりする	
	言葉	○語りかけることにより喃語や単語が出る。	○話しかけや、やり取りの中で声や言葉で気持ちを表す。	○保育教諭に質問したり、興味を持ったことを言葉にする。	○生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○話しきりをもつて日常の挨拶をする。	○体験したことややりたいことを言葉にして伝える。	○人の話を聞き相手に分かるように話し、会話が成立する。 ○文字や数への関心をもつ	○言葉のやり取りを通して、相手の気持ちに気づく	
食育	表現	○身の回りの素材に触れたり、歌に合わせて体を揺らすなど、全身で感じ楽しむ	○保育教諭と一緒に歌ったり遊びをしたリズムに合わせて体を動かして遊ぶ	○保育教諭や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しむ、簡単なごっこ遊びを楽しむ	○色々な素材や用具に親しむ友だちと工夫して遊ぶ	○友だちとイメージを共有し、一緒に表現し活動する楽しさを味わう	○様々な表現活動を通じて自己表現をする		
	食を営む力の基礎	○安心して食べる事に意欲を持つ。	○色々な味になれ、食べる事の楽しさを知る。	○食生活の基本的な習慣、態度に興味関心を持つ。 ○色々な食べ物に興味を持つ。	○食生活に必要な習慣や態度を身につける。 ○身近な人と食べる楽しさを味わう。	○感謝の気持ちを持って、食事を味わう。 ○食べ物と体の関係を知る。	○様々な食文化などを体験し、地域への関心を持つ。 ○食事ができるまでの課程に関心を持って、体験を通して命の大切さを知る。		
健康支援		○健康状態、発達発育状態の定期的、継続的な把握(月1回の身体測定等) ○年2回内科の健康診断、年1回歯科の健康診断 ○異常が認められた時の適切な対応							
環境・衛生管理		○施設内外の設備 ○用具・遊具等の清掃及び消毒 ○安全管理及び自主点検 ○子ども及び職員の清潔保持 ○全職員の検便							
安全対策・事故防止		○毎月の避難訓練(火災・地震) ○消防署査察、消防点検、消防署との合同訓練 ○町民課主催の年2回交通安全教室							
保護者、地域等への支援		○一時保育 ○こども園開放日(月1回) ○子育て支援センターとの連携(遊びの広場・育児相談・子育て情報・親子支援) ○実習生・職場体験・ボランティアの受け入れ							
研修計画		○町内関係者研修会2回 ○各保育士研修会・幼稚園関係研修会							
小学校との連携		○小学校参観日への出席 ○こども園こども要録を小学校との引き継ぎの際に持参							
地域の行事への参加		○障がい者とお年寄りの運動会への参加 ○敬老会への参加(5歳児)							
自己評価		○保育教諭の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ○こども園の評価							